

施策分析シート（令和8年度）

No1

施策名	魅力ある教師の育成	施策No	04-05	部課名	教育委員会事務局指導室
関連部課名	教育委員会事務局教育総務課、荒川区立教育センター				
行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市		
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成		

目的	荒川区の未来を担う子どもたちが、たくましく生きる力を培い、地域社会の構成員として信頼と尊敬を得られる人間性豊かな人として成長するために、その師としてふさわしい、魅力ある教師の育成を目指す。				
----	--	--	--	--	--

指	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			5年度	6年度	7年度			
	①	「生きる力」の習得度	3.66	3.56	3.52	お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？		
	②	子育て・教育環境の満足度	3.55	3.55	3.50	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？		
	③	望む子育てができる環境の充実	3.41	3.37	3.27	自分が望む子育てができるような環境があると思いますか？		
④								
標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			5年度	6年度	7年度	8年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	心配事を相談できる先生がいると感じる児童生徒の割合	70.8	74.2	77.1	77.6	75.0	(%)「学校関係者評価」より
	②	先生がアドバイスをくれると感じている児童生徒の割合	84.2	85.4	86.5	86.5	86.5	(%)「学校関係者評価」より
	③							
	④							
	⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	勘定科目		6年度	7年度	差額
	行政費用	給与関係費	149,189	169,090	19,901	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	6,709	84,713	78,004		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		都支出金	89,397	188,144	98,747
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	15,489	98,132	82,643		使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	89,397	188,144	98,747
		賞与・退職給与引当金繰入額	7,023	9,909	2,886		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 89,013	▲ 173,700	▲ 84,687
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		178,410	361,844	183,434	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 89,013	▲ 173,700	▲ 84,687	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 89,013	▲ 173,700	▲ 84,687	
貸借対照表	勘定科目		6年度	7年度	差額	勘定科目		6年度	7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		2,261	2,617	356
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	2,261	2,617	356	
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
		建物	0	0	0	固定負債	10,874	13,054	2,180	
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	10,874	13,054	2,180	
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	13,135	15,671	2,536	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 13,135	▲ 15,671	▲ 2,536	
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 13,135	▲ 15,671	▲ 2,536	
	資産の部合計		0	0	0	負債及び正味財産の部合計		0	0	0

財務諸表に関する特徴的事項等

○給与関係費及び賞与・退職給与引当金繰入額は、人事異動・業務分担の見直しによる職員体制の変更や会計年度任用職員の報酬改定により、差額が生じている。また、行政費用の物件費は主に教育指導事務費におけるエデュケーションアシスタントに係る委託料、補助費は保護者負担軽減費用により増加している。
○スクールサポートスタッフ、エデュケーションアシスタント等に係る費用で都からの交付金がある。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○21世紀の知識基盤社会にたくましく生きる荒川区民を育成するために、教師の教育に対する使命感や指導力の向上に努めている。 ○「学校関係者評価」における「先生がアドバイスをくれると感じている児童生徒の割合」が86%を超えており、信頼されている教師が多くいる。 ○様々な経験をもつ教師が相互に学び合い、互いに指導技術を高め合うことができるように、教育委員会は、「研究指定校事業」「荒川区教育研究会への補助事業」など、研究の活性・充実を支援している。
課題	○教員の指導力の向上に向け、学習指導要領の趣旨に沿った授業改善が求められている。「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を進め、効果的な学習・指導方法を開発することを促す研修を行う必要性が高まっている。 ○研修会等を通じて、教師の信頼を更に高めるため学校の取組を明確に伝え、地域とともに子どもたちを育てていく意識を更に向上させていくことが必要である。 ○研究指定校事業として、喫緊の教育課題等をテーマに掲げ区内の学校を指定しているが、全ての学校を指定することができ、その指定方法について見直す必要がある。荒川区教育委員会研究会では、所属する教員にとっては、とても有意義なものではあるが、他の部会の取組内容が全て周知されておらず、その研究成果の更なる普及が必要である。
今後の方向性	○経験年数や、職層に応じた多種多様な研修会を更に充実させ、教育に対する使命感や専門性の高い、実践的指導力をもつ教師を育成していく。 ○教員が児童・生徒と向き合う時間を確保し、スクール・サポート・スタッフ、副校長事務補佐の活用等により、教師の事務作業量を減らし、働き方改革を推進するとともに、教師本来の姿である子どもとの信頼関係を構築しやすい環境を整備していく。 ○研究指定校の指定方法を検討するとともに、各校の効果的な研究成果を全校に周知するため、I C T機器等を効果的に活用していく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
8年度	9年度	
重点的に推進	重点的に推進	子どもの教育に情熱と使命感をもつとともに、荒川の教育に誇りをもち、意欲的に取り組む教師を育成し、学校教育の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
教職員表彰	13-01-04	407	44	36	44	継続	継続	表彰が教職員にとってより一層の励みとなるとともに、全体のモラルアップ及び学校教育の充実を図るため、継続して実施する。
その他教育活動費	13-01-05	6,965	8,170	4,365	5,015	継続	継続	教職員の資質向上と充実した学校教育の発展のため、継続して実施していく。
教育研究会補助	13-04-22	5,404	5,707	4,085	4,089	推進	推進	教職員自らの創意工夫を生かした教員研修を支援する。
研究指定校事業（区）	13-04-23	3,230	2,787	1,251	1,169	推進	推進	企画提案を受け、校内研修の充実を図る。
教育指導事務費	13-04-37	154,139	336,454	140,415	319,923	継続	継続	区教育行政の充実及び安定した学校経営の維持のため継続する。
教職員研修事業（研修費、人権教育研修費）	13-05-05	8,270	8,683	5,446	5,457	重点的に推進	重点的に推進	教員の資質向上と様々な教育課題への理解促進のため、今後も研修の充実を図り、重点的に推進する。
合 計		178,415	361,845	155,598	335,697			